

「九州沖縄の水環境」
日本水環境学会九州沖縄支部に
おける研究活動と展望

公益社団法人 日本水環境学会

九州沖縄支部

はじめに

「九州沖縄の水環境」を発刊する構想は、2018年に支部長であった琉球大学農学部教授（当時）中野拓治先生の発起で始まりました。九州は中央に九州山地を有し、地理的には北部九州と南部九州に分割されます。また、日本における亜熱帯の代表である沖縄は、他の地域ではあまり見られない固有の水環境を有しています。九州沖縄支部の学術研究は、このような山紫水明の多様な水環境を保全することを第一としておこなわれています。当初の構想では、九州沖縄を構成する各地域の水環境を概括し、これをもとに九州・沖縄地域の各県ごとの特徴や今までの研究の取り組みを整理することとしていました。これは、2000年に日本水環境学会が企画・発刊した「日本の水環境シリーズ」九州沖縄編の新版を作成することを意図したものです。しかしながら、九州沖縄支部の研究範囲は水環境を把握するだけでなく、水処理プロセスの開発や微量汚染物質の化学的特性解明といった技術分野もカバーしています。また、支部の活動には市民教育や活動表彰もあります。このことから、水環境の資料だけでなく、いっそのこと、九州沖縄支部が支部研究発表会を始めて開催した1989年から現在に至るまでの様々な活動動向を一冊に著そうという考え方に至りました。

1996年度に始まった支部研究発表会は毎年開催され、現時点で23回を数えます。各年でおおよそ20～50件の研究発表がおこなわれており、その内容は当時のホットトピックも含まれています。本書は、支部研究発表会の要旨集や支部が毎年発行するニューズレター等による記録に基づき、研究内容を時系列的に整理し、九州沖縄支部における研究動向と現状について研究分野や研究発表機関の現状と動向を解析・考察しています。この資料整理と解析は、九州沖縄支部宮城俊彦顧問と中野拓治先生の多大なるご尽力によって実現できました。「九州沖縄の水環境」の作成では、九州沖縄支部役員・元役員による過年度資料の提供や発掘によって1次データを収集することができました。これらを中野拓治先生と宮城俊彦顧問が更に整理し、本書のような形で発刊する運びとなりました。本書の作成に関わった方々に深謝するとともに、本書によって水環境保全の活動がいっそう盛んになることを希望します。

2021年1月

日本水環境学会 九州沖縄支部
支部長 安井英斉

目 次

1.	日本水環境学会九州沖縄支部の水環境研究の現状	1
1.1	九州沖縄支部研究発表会の概要	1
1.2	九州沖縄支部研究発表会の課題の変遷	2
1.3	九州沖縄支部研究報告の演題と登壇者	4
1.4	九州沖縄支部研究報告の概要	25
2.	日本水環境学会九州沖縄支部活動の歩み	64
2.1	九州沖縄支部事業活動	64
2.2	九州沖縄支部長・副支部長	69
3.	九州沖縄支部における研究動向と展望	70
3.1	九州沖縄の概況	70
3.2	研究動向	70
3.2.1	研究課題テーマの動向	70
3.2.2	大学・高専・行政機関・民間機関等の動向	79
3.3	展望	80
4.	付表（分野別課題一覧）	81